

つがる市議会だより

6月定例会

定例会の概要	1	予算特別委員会の審査	7～8
議会改革検討特別委員会会議結果報告	2	常任委員会の審査	8～9
主な可決議案	2	所管事務調査報告	10
一般質問	3～6	行政視察報告	11
		議会の動き	12

▶ 第40号 平成26年 8月 発行：つがる市議会 編集：議会だより編集委員会



～水あそび大好き！～ しげた保育園ひまわり組の子どもたち

主な可決議案

○つがる市民の歌制定委員会条例

議員の発案により、市制施行10周年記念事業のひとつとして「市民の歌」を制定します。(2頁参照)

- 平成25年度一般会計補正予算額(専決処分)…………… 4億550万7千円
補正後の予算額…………… 244億5,472万1千円
- 平成26年度一般会計補正予算額(第2号)…………… 5億479万8千円
補正後の予算額…………… 232億9,864万3千円
- 平成26年度農業集落排水事業特別会計補正予算額…………… 2,278万8千円
補正後の予算額…………… 7億532万4千円
- 平成26年度公共下水道事業特別会計補正予算額…………… 59万1千円
補正後の予算額…………… 7億105万8千円
- 平成26年度介護保険特別会計補正予算額…………… △1,815万8千円
補正後の予算額…………… 42億912万円

6月定例会の概要

平成26年第2回定例会は、6月2日から16日まで、15日間の会期で開催されました。今定例会では、平成25年度つがる市一般会計補正予算などの報告、平成26年度各会計補正予算などの報告、つがる市民の歌制定委員会条例をはじめとする条例案と追加議案を含む全24件を原案通り承認・可決しました。また、人権擁護委員推薦についての諮問は適任と認められました。請願1件は、条件付きでの採択となりました。4名を含む7名が登壇、市政の課題について当局の考えをいただきました。

○議会運営に関する次の事項について、実施の是非及び実施時期等の協議・検討を行った。

- 1 一般質問対面方式の採用について
次期選挙（平成27年2月）後、3月定例会より質問席を設け、質問する側、される側が対面して一般質問を行う方法を導入することとした。
- 2 議会傍聴の見直しについて
3月議会において傍聴券の廃止を定めたが、議事をスムーズに進行できるように、「傍聴人の守るべき事項」の内容を見直すこととした。
- 3 一般質問通告表様式の見直しについて
市民によりわかりやすくなるよう、通告表に議席番号や会派名等を追加することとした。



主な可決議案

諮問

諮問第1号

人権擁護委員の推薦につき意見を求めるの件

(委員9名中、2委員の任期が満了することに伴い、後任委員の推薦について意見を求めるもの)

吉田 恵美子 (再任)

木造越水

成田 美津子 (新任)

柏桑野木田

任期

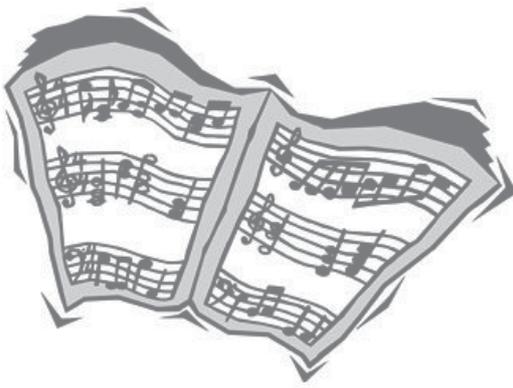
平成26年10月1日から

平成29年9月30日まで

議案第38号

つがる市民の歌制定委員会条例
(市長の付属機関として市民の歌制定委員会を設置するために提案されたもの)

市民の歌は、市の合併及び市制施行10周年を記念して、更なる一体感の醸成、市民のふるさと意識の高揚、市のイメージアップを図ることを目的として制定されます。委員は、議員2名と学識経験者等で構成され、制定に関する調査・審議を行います。



議案第43号

財産の取得の件
(老朽化したロータリ除雪車を入れ替えるもの)

納入場所
車力防雪センター
納入期限
平成26年11月28日

議案第44号

工事の請負契約の件
(消防救急デジタル無線整備工事について、請負契約を締結するために提案されたもの)

工事場所
つがる市消防本部、つがる市消防署各署所
つがる市豊富町地内(中継施設として鉄塔を整備するもの)

報告第9号

専決処分した事項の報告及び承認を求めるの件
(つがる市承認企業立地計画に従って設置される施設に係る固定資産税の特別措置に関する条例の一部を改正する条例)
(省令の一部改正に伴うもの)

その他、専決処分された、平成25年度国民健康保険ほか特別会計補正予算の報告がありました。

一般質問要旨 ここが聞きたい

38号より答弁者職名をカットしています
議員が何を聞いて市がどのように答えたかが理解できればよいと考え、読みやすさを重視したものです。



成田 克子
芳政会

- ・ 独身男女の婚活支援事業について
- ・ 市民診療所受付でのトリアージ（重症度の評価）について

問 未婚・シングル化の急増が深刻化し、全国600の自治体が婚活支援に取り組み、政府も自治体開催の婚活イベントへの支援策を打ち出している。本市でも支援策を打ち出すべきと考える。メロン・スイカフェスティバルで「婚活イベント」を開催してはどうか。

答 婚活は、少子化対策・子育て支援・若者の定住対策などと同様に地域活性化対策の根幹をなすものです。国は、「結婚・妊娠・出産・育児の切れ目のない支援」に取り組むことで、総合的な強化を図る政策を打ち出しております。市としても家庭・職場・地域社会が積極的に支援していく環境作りが重要であるとの認識のもと、効果的な婚活対策について、JA、商工会、体育協会、福祉団体などの協力を得ながら積極的に検討して参りたいと思います。メロン・スイカフェスティバルでの婚活イベントの開催については、プライバシー侵害等の問題が生じる恐れがあるため、検討課題とさせていただきます。と思えます。

問 病人、けが人等の重症度を見極めて優先的に診察、治療を行うトリアージというものがある。体調が悪い患者さんや車いすの患者さんは、優先されるべきである。つがる市民診療所受付でもトリアージを行ってはどうか。

答 トリアージは本来災害現場等において傷病の緊急度に応じて適切な搬送・治療を行うものですが、近年では大きな病院の救急外来でも行われるようになってきております。つがる市民診療所においては、診察前に看護師による事前問診を行っており、症状によっては受付順位を早めて受診できるような体制をとっております。

問 トリアージのような体制をつがる市民診療所でもとっていることを院内に掲示し、また、周知のために広報に掲載してはどうか。

答 市民診療所を通して経営体である広域連合へ要望して参りたいと思えます。



長谷川 榮子
無所属

- ・ 結婚支援事業について
- ・ 人口増加策と定住促進について

問 結婚を望んでいない若者の多くが結婚できない理由として「適当な相手に巡り会わない」と答えている。(25歳から35歳の独身男性46.2%、女性51.3%)。この数値についての考えはどうか。

答 個人の価値観が非常に多様化しているように感じております。行政としては、若い世代の価値観を尊重しつつ、結婚と就業、子育てや定住などの面で、社会環境の総合的な整備をすることで、つがる市で結婚して生活していくことを、若い世代にも選択してもらえるようなまちづくりを推進して参りたいと思えます。

問 つがる市でも人口の減少が著しく、将来を見据えた対策を考えていくべきである。人口増加対策、定住促進のための働きかけや取り組みは。

答 人口減少のスピードを緩やかにするためのがん検診の充実や、子ども医療費の無料化など、ソフト面での施策、また、公共住宅の整備等ハード面の施策を進めているところですが、問題解決には至っていないのが実情です。

問 結婚支援も含め、人口増加策や定住促進に取り組む専門の課を設けてはどうか。

答 定住促進に関する部署は企画調整課であり、中央からの交流人口を増やすための事業を行っております。全国の人口増加策の事例を調べると、子育て支援によるもの、住宅環境整備によるもの等多数あります。今後、企画調整課で議論し、必要に応じて全庁的な会議を開き、スピーディーに取り組む姿勢を作っていくしたいと思います。

問 婚活パーティーなど、出会いの場の事業実施についてどう考えるか。

答 お見合いマッチングの場ではなく、若者が交流を深める継続的な「出会いの場作り」として、民間の様々な機関と協力・連携し事業を行えばと考えております。

一般質問要旨 ここが聞きたい

38号より答弁者職名をカットしています

議員が何を聞いて市がどのように答えたかが理解できればよいと考え、読みやすさを重視したものです。



松橋 勝利
無所属

- ・ 企業誘致について
- ・ 市民の所得向上について

問 つがる市の人口減少の要因のひとつとして働く場が少ないことがあげられる。若い人が働けるような企業を誘致するため、企業誘致課を新設し専門に誘致業務を行うべきでは。また、誘致にあたっては、旧町村ごとに一企業を目標に進めてはどうか。

答 当市としては、現状の地域振興対策室の体制を強化し取り組んで参りたいと考えております。昨年10月に誘致した「つがるコンシェルジュセンター」には、現在、市内の方が36名勤務しています。定住対策の一環として、企業誘致が最も効果が見込まれることから、企業立地情報をいかに集めるかが重要となります。市では、首都圏在住の、つがる市出身者やゆかりのある人たちが構成している「津軽まほろば会」の有志の中から「つがる市応援隊」を組織し、様々な情報収集に努めているところです。

旧町村一企業誘致というご提案についてですが、現状は過去2年間の県全体の企業誘致数が27件。うち津軽地方では弘前市1件、つがる市1件と非常に少ないことから、市内に1社でも多く誘致できるように努めて

参りたいと考えているところです。

問 企業誘致を専門に行う職員を任命する考えはないか。

答 東京にある青森県の出先機関を廻り誘致企業の情報を得たり情報交換もしており、これを強化したいと思えます。

問 つがる市は県内10市中、最も低所得である。対策をどう考えているか。

答 この要因は、第1次産業である農業所得はトップレベルにあるものの、雇用者に対する報酬、賃金が低いことにあると思われれます。具体的には、企業数が少ないため企業所得総額が低レベルにあり、報酬、賃金総額が伸びていないためです。今後は、本市の基幹産業である農林水産業はもちろんのこと、若者定住の必要条件である「働きがいのある職場」の充実を目指すため、更なる企業誘致の推進や新たな6次産業化を目指す事業者の育成、空き店舗を活用するための支援等を強化し参りたいと考えています。



成田 昭司
五和会

- ・ スポーツ振興について
- ・ 人口増加策と定住促進について

問 スポーツ振興、総合運動公園に対する考え方を伺いたい。

答 スポーツ振興は健全育成や活力ある街づくりの観点からも重要です。市の総合計画でも生涯スポーツ活動の促進を掲げており、今後も取り組んでいく必要があると考えます。

教育委員会では、スポーツ推進審議会の答申を踏まえ定例会議で審議し、3月に基本的な考えをまとめました。総合体育館及び運動場建設計画については、ニーズも高く整備の必要性があるとの判断で、平成28年度からの次期「つがる市総合計画」等の中に位置づけながら進めていければと考えております。総合運動公園については、事業規模も大きく、他事業との兼ね合いから、実現は厳しいと予想され、まずは総合体育館の整備に標準を合わせることを考えております。

問 総合体育館の建設を28年度から市の総合計画に位置づけ進めたいとのことだが、財政部の見解は。

答 総合体育館の必要性は認めますが、27年度から交付税が目減りすることから、大規模事業について

は、その是非について議会の意見も伺いつつ、庁内で充分詰める必要があると考えております。

問 住民ニーズが高い事業は、財政的に厳しくてもやれる範囲内で行うべきと考えるがどうか。

答 来年からとりかかるとは言えませんが計画実現に向け進めることだけはお約束します。

問 人口増加策、定住策について、庁内横断的な組織としてプロジェクトチームを結成し検討すべきでは。

答 企画課と地域振興対策室がタイアップし、姉妹都市での物産販売を通して市のPRをしたり、教育委員会と福祉課による放課後児童クラブの設置等、庁内横断的な取り組みは行って参りました。また、様々な課題については各部長で構成する政策会議幹事会を開催し全庁的な意見を集約してきたところです。第2次総合計画の策定にあたり、各部長から成る庁内連絡協議会を設置し、これまで以上に連携を深めながら取り組みたいと考えております。

一般質問要旨 ここが聞きたい

38号より答弁者職名をカットしています
議員が何を聞いて市がどのように答えたかが理解できればよいと考え、読みやすさを重視したものです。



木村 良博
五和会

・中央公民館について
(その他の質問 市の現状と今後の課題について)

問 公民館基本構想案の内容と実施計画は。

答 現木造中央公民館の老朽化と図書館の建設要望を踏まえ、複合施設として「松の館」に隣接して整備してはどうかという案です。「松の館」の機能を最大限いかし、研修室や防音室など最小限のものを2階に、図書館を1階に整備することでコストを抑えられるという構想です。立地場所としては、松の館南側の「みどり公園」を想定したものです。

現時点では他の整備事業との兼ね合いや今後の財政状況も踏まえると、早期建設については慎重に判断しなければならぬとの結論となりました。

問 基本構想案の作成にはどのようなメンバーが参画したのか。

答 市の社会教育委員と教育委員会が主体となって作成しております。

問 昨年の議会で、構想内容決定後、あったが、報告がなかった理由は。

答 他の事業もあるため、財政見通し等を考慮した場合、早急な判断は難しいとの見解でありました。実施決定していないものを議会に説明するのはいかがなものかという結論に至ったという経緯です。

問 現木造中央公民館の耐震強度は。また、旧制中学校であった講堂は市の文化財である。改修の予定はあるのか。

答 公民館は築後50年を経過しており、あえて耐震診断はしておりませんが耐震性が低いことは明らかです。当面の対応として、公民館利用の各団体の活動場所を他の市有施設に確保するため協議中であり、中央公民館は閉鎖の方向で検討したいと思っております。講堂については、価値について専門家からの意見を得るため、調査経費を予算計上しております。その結果をもとに、今後どのように利用していくのか、または閉鎖するのか最終的な判断をしたいと考えております。



三上 洋
芳政会

・つがる市職員労働組合の概要と条件について

問 つがる市職員労働組合の概要と労働条件について次の3点を問う。

①組織形態は。②現在の組合員数は。③労働基準法第36条に基づく「36協定」の取り扱いは。

答 直接関与することがないため聞き取り情報での答弁となります。①市の職員及び水道企業団の職員で構成されています。②4月1日現在で294名です。③当市においては、時間外労働及び休日労働に関する基本協定書として平成17年4月1日に締結しております。

問 職場における共助共援については管理されているか。

答 多様な行政需要に的確かつ機動的に対処するため、地方自治法に基づき、行政組織が整備されており、この体制を基盤に業務を遂行することとなっています。職員は、この組織の構成員であることから、それぞれの業務目的を達成するため、互いに協力し合って職務に専念することが原則です。

問 これからの組合のあり方として、地域社会の問題に積極的に参画し市の懸案事項に大きな視野で取り組み行政のパートナーとなつてほしいという持論があるが、行政のコメントを求めたい。

答 組合員は市の職員でもあり、自ら自己研鑽を積み、市が抱える懸案事項に対し積極的に取り組んでもらいたいと念願するところです。

答 ハラスメント等の苦情の申し出、相談に関しては、総務課が窓口であり、場合によっては「苦情処理委員会」を設置し、当該事案を処理することとなっております。また、職員の心身の健康維持向上を図るため、「衛生委員会」を設置しており、産業医による健康相談や健康維持に関する情報提供を行っているところです。

一般質問要旨 ここが聞きたい

※38号より答弁者職名をカットしています※
議員が何を聞いて市がどのように答えたかが理解できればよいと考え、読みやすさを重視したものです。



伊藤 良二
芳政会

・人口減少対策について
・高齢化対策について
(その他の質問 少子化対策について他)

問 人口減少の現状、要因を問う。また、今後の対策は。

答 合併時(平成17年2月)の人口、40,422人から5,238人が減少しております。

少子化により死亡者数が出生者数を上回る自然減と転出者が転入者を上回る社会減がありますが、自然減は2,649人。社会減は2,589人となっております。当市の人口減少は、少子・高齢化の進行と進学・就職に伴う転出者の増加などの社会環境が複合的に要因しているものと思われま。

対策として、企業を積極的に誘致し雇用場を設けることや本市の基幹産業である農業所得の向上を図るとともに、新規就農の促進・担い手の育成に努めることにより、若年者の定住促進を図ることが重要と考えております。また、子どもを持ちたい人が安心して出産・子育てができる環境整備の一環として実施してきた、子ども医療費の無償化、保育サービスの充実と、放課後児童クラブや育児サークルの支援を今後も推進し、仕事と子育ての両立できる環境を整備していくことが課題だと認識しております。

問 高齢化対策のひとつとして、生きがいづくりのためにもシルバー人材センターをもっと活用してはどうか。

答 本市における高齢者の雇用対策として、シルバー人材センターの存在は大きく、現在175名が会員と聞いております。業務については、草刈り、薬剤散布、施設管理、清掃等。また、通院・入院時の付添給食業務への派遣も行っている聞いております。在宅介護等の必要性に対応するため、会員の技術付与を目的とした介護職資格取得講習会への参加を図り就業にも努めているとのこと。市としても今後も支援していきたい考えです。

問 高齢者の健康寿命を延ばすための事業内容は。

答 食生活改善グループなどと連携し、減塩食の指導にあたりたり、認知症予防のためには、回想法という、若い頃の話をして脳を活性化させる方法などにも取り組んでおります。

永年勤続議員の表彰

◆全国市議会議長会表彰

6月定例会で、永年勤続された議員3名に、表彰状と記念品の伝達が行われました。

15年表彰	伊藤 良二
10年表彰	成田 克子
10年表彰	成田 昭司



左から成田昭司議員、伊藤良二議員、成田克子議員

できごと

航空自衛隊車力分屯基地及び米陸軍車力通信所活動報告会

去る4月14日、車力分屯基地と米軍車力通信所の一行6名が市役所を訪れ、議長、基地対策特別委員会正副委員長に活動報告をしました。



予算特別委員会の審査状況をお伝えします



委員長
小笠原 忍

今議会の予算特別委員会では、専決処分された平成25年度の一般会計補正予算（第9号）、26年度の一般会計補正予算（第1号）をはじめ、26年度の各予算案について審査しました。主な質問は次のとおりです。尚、一般質問同様答弁者の職名は掲載しておりません。

問 佐々木 直光 委員
文化財保護費が減額されている。予定どおり事業を消化しての減額か。または、なんらかの理由で事業ができなかったことによる減額か。

答 当初見込んだ事業のうち、計画どおり進んだものもあつたが、年度内に消化できなかった予算もあり減額したものの。例をあげれば印刷費については、最終報告書の刊行が遅れたために消化できなかったもの。これについては26年度以降順次、作成を進めていく。

議案第39号

平成26年度つがる市一般会計補正予算（第2号）

問 長谷川 榮子 委員
旧成人病センターの敷地面積はどれ位あつたのか。また、解体ゴミはどう処理されるのか。

答 敷地は約1,878坪。ごみの処理も解体工事費の中に含まれており、業者が廃棄物として処理する。

報告第14号

専決処分した事項の報告及び承認を求めるの件
（平成26年度つがる市一般会計補正予算（第1号））

問 松橋 勝利 委員
今回専決した緊急雇用創出対策事業費補助金について説明を。

答 現在3事業を行っている。①介護員人材確保支援事業（福祉事業者での雇用）②技術者人材確保支援事業（建設業者や製造業者等での雇用）③営農指導員人材確保支援事業（農協関係での雇用）。4月末までに公募し、その結果、20社38名の雇用になっている。

報告第3号

専決処分した事項の報告及び承認を求めるの件
（平成25年度つがる市一般会計補正予算（第9号））

問 松橋 勝利 委員
生活保護費1,400万円減額の詳細は。

問 成田 昭司 委員
たばこ税2,000万円の増額は愛煙家の増加によるものか。

答 たばこ人口は若干減っているものの、ほぼ横ばいである。今回の増額は、たばこの値上がりで税金分がアップしたことによる。

問 佐々木直光 委員
発掘調査はほぼ予定どおり進んでいるととらえてよいか。

答 亀ヶ岡や田小屋野の公有地化を進めており、公有地化を終えた場所は順次、埋蔵物の調査も行っている。尚、建造物を建てる

議会用語一口メモ

専決処分とは 議会が議決すべき事項を、時間的に議会の招集を待てない緊急な場合などに、市長が代わって意思決定することをいいます。専決処分の後には、議会に報告し承認を求める議案の提出が必要です。このほか、あらかじめ議決によって特に指定したものは専決処分（議会の委任による専決処分）ができますが、その後議会への報告が必要です。

問 長谷川榮子 委員
病院解体後の利活用は決まっているのか。

答 更地化後の利活用は現時点では未定である。

問 松橋 勝利 委員
過疎地域等自立活性化推進事業補助金942万円の内容説明を。

答 総務省の交付金を得て、都市住民との交流によって過疎地域をにぎやかにしようという趣旨の事業。内容は①地域伝統の祭りに参加してもらう。②りんご収穫体験による経済交流をする。③都会の消費者の意見を聞きながら売れる特産品を開発する。④地域の魅力を全国に向け発信するの4件。

問 松橋 勝利 委員
市からは予算を出すの

みか。あるいは市としてのコンセプト等を伝えているものか。

答 事業を立ち上げるにあたり、商工会、フィルムコミッションとも事前に協議を重ねた上で計上したものであり、単に団体に予算を出すだけのものではない。

問 松橋 勝利 委員
つがる市相撲道場費計上の経緯は。

答 当初予算で木造中学校に相撲場を建設する方向で実施設計委託料を計上した。教育委員会としては今年度設計を組み、来年度国の補助事業に乗せて建設する方向で考えていたが、今般、財政目的が立ったというところで、前倒しで建設することとなったため計上したもの。学校体育施設として計上したが保健体育施設（社会教育）として建設していく。

各常任委員会の審査状況をお伝えします

付託された議案についての主な質問は次のとおりです（一般質問同様、答弁者職名を掲載しておりません）



委員長
野呂 司

総務常任委員会

報告第8号

専決処分した事項の報告及び承認を求めるとの件

（つがる市税条例等の一部を改正する条例）

（地方税法等の一部改正に伴うもの。一部改正の主なものは、法人税、軽自動車税、固定資産税についてとなる）

問 長谷川 徹 委員
軽自動車税の見直しによる税収の今後の推移見込みは。

答 平成27年度は、1億534万円、平成28年度は1億3,373万円、平成29年度は1億3,933万円の増と見込んでいる。

問 成田 博 委員
業務用フォークリフト

等も今回の軽自動車税率改正に該当することだが、税率はどのように設定したのか。

答 地方税法の改正により1. 5倍との案もあったが、農耕用にも使用されており、また、税率の均衡を図ることができないことから、農耕用にならない1. 25倍とした。



委員長
村上 秀徳

教育民生常任委員会

報告第10号

専決処分した事項の報告及び承認を求めるとの件（つがる市国民健康保険条例の一部を改正する条例）

（地方税法等の一部改正に伴うもの）

問 平川 豊 委員
国保課税限度額引き上げにより影響を受ける世帯数とその額は。

答 25年度で限度額に達している世帯数は、後期高齢者支援金分で294世帯、介護納付金分で208世帯となっている。引き上げ額は、後期高齢者支援金分・介護納付金分ともに2万円となる。

議案第34号

つがる市立学校設置条例の一部を改正する条例

（つがる市小学校規模適正化実施計画に基づき、つがる市立稲垣西小学校を閉校し、つがる市立稲垣小学校に編入するために提案されたもの。）

問 伊藤 良一委員
西小学校の現在の在籍数は。

答 55名である。

問 白戸 勝茂 委員
編入後、通学が遠距離となる児童のためのスクールバスの配置は考えているものか。

答 現在協議中であり、運
行する方向で進めている。

議案第37号

つがる市火災予防条例の一部を改正する条例

(消防法施行令の一部改正に伴い、火気器具等の取り扱いに関する規定整備のほか、屋外における催しの防火管理体制構築を図る義務づけのために提案されたもの)

問 白戸 勝茂 委員

十万人以上の人出がある場合の義務づけのことだが、それ以下の人出の催しでも該当させるべきでは

答 地域の实情により十万人以下でも指定して構わないということであるため、市内の催しの人出を調査し、近隣の消防署にも確認した上で話し合ったが、要件を満たしておらず指定するには至らないのではないかという結果となった。



経済常任委員会



委員長
天坂 昭市

議案第35号

つがる市農村公園条例の一部を改正する条例

(川除農村公園を廃止するための提案。廃止理由(川除地区コミュニティ消防センター建設のため)

問 佐々木 直光 委員
公園の敷地全体を使用するものではないと思うが公園機能は残るのか。

答 建物と駐車場をとるため、公園機能は残らない。

問 佐々木 敬藏 委員
コミュニティセンターの広さが100坪とのことだが、地区の人口はどれくらいか。

答 人口は把握していないが、川除地区、芦屋地区、豊田地区、コスモス団地と4地区が利用対象となっており、かなりの人口がある。

建設常任委員会



委員長
木村 良博

議案第36号

つがる市法定外公共物管理条例の一部を改正する条例

(消費税法等の一部改正に伴い、青森県国有財産使用料徴収条例が一部改正され、収益の許可による使用料が見直されたことから、これに準じた金額とするため所要の改正を行うもの)

問 長谷川 榮子 委員
法定外公共物の使用件数及び金額は。

答 平成24年度は57件で115万3,367円、平成25年度が53件で115万783円となっている。

請願

請願第3号

館岡地区市道整備に関する請願

請願人 館岡財産区管理会
会長 佐藤 勇一
紹介議員 天坂 昭市
長谷川 徹
野呂 司

今回整備を求めているのは、主力農産物のメロン・スイカ畑の中の市道である。雨水による砂利の流出でできるわだちでメロン・スイカの運搬作業に支障をきたすことから、これまで砂利の投入を繰り返してきたが、今回抜本的に問題を解決するため整備を要望したものの、しかし、周辺一帯が、埋蔵文化財包蔵地指定となっており、場合によっては発掘調査も必要となることから今回舗装が可能なのは、路線基点部分のみであった。要望の一部分を整備することから、条件付きでの採択という結果となった。



地元の方から説明を受ける委員

所管事務調査報告（市内視察）

教育民生常任委員会 調査日 6月24日

西北五環境整備事務組合が管理する稲垣の西部クリーンセンターを含む、市内の一般廃棄物最終処分場を視察しました。



木造稲垣一般廃棄物最終処分場で処理能力、汚水処理方法について伺いました。



担当課長より市内3処分場の概要と延命化後の埋め立て可能年数等の説明を受けました。

経済常任委員会 調査日 6月25日

つがる市初の誘致企業となった「つがるコンシェルジュセンター」と7月5日にオープン1周年を迎えた「つがる市農産物直売所」を視察しました。



コンシェルジュセンターでオペレーター研修中の皆さん。この他、通信販売業務、地域情報誌「津軽本」発行業務も行っています。本格操業後の事業展開等の説明を聞きました。



店舗一部がリニューアルした農産物直売所。今後も事業の拡大を目指しています。委員からは、加工品の品質管理の徹底等について質問や要望が出されました。

行政視察来庁 やちまた 千葉県八街市議会 会派4名 平成26年7月2日来庁 視察テーマ 「胃がん撲滅検診事業」（ピロリ菌感染検査と除菌治療）について



健康推進課より、つがる市で行っている検査方法等について説明しました。



議会事務局長からは、つがる市の概要説明がありました。

常任委員会の行政視察報告

先進自治体の事例を学ぶため、各常任委員会が視察を行いました。今号では総務常任委員会と教育民生常任委員会が報告します。

総務常任委員会

視察先：福岡県筑後市・福岡県春日市（6/25～6/27）

【筑後市：接遇向上及び人材育成について】

筑後市では職員提案制度で優秀賞を受賞した接遇向上委員会を設置、三ツ星の市役所を目指し平成20年から接遇向上の取り組みを始めている。活動としては、接遇マニュアルの作成、定例委員会、接遇広報誌の発行、市民向けの接遇アンケート、研修等を実施している。全ての職員が「おもてなし」の気持ちを常に持ちお客様の立場に立って行動することによって、市役所全体のサービス向上につながるとのこと。

また、人材育成においては職員の個性や多様性を尊重した上で、職員が主体的に能力を開発し、市民サービス向上を図ることを狙いとしている。当市においても職員の応対等において、常に市民の立場に立った、継続的な意識付けの取り組みの必要性を感じた。

【春日市：コミュニティバス事業について】

公共交通空白地域の解消・公共施設への利便性向上のためコミュニティバス事業について視察研修を行ってきた。春日市においては、朝は交通渋滞のため通勤・通学客を対象としない午前9時始発、午後7時終発としている。福岡県下でコミュニティバス事業を行っている40団体のうち上から8番目くらいの春日市であっても、収支比率が約33%、年間4～5,000万円の赤字（100%市補助金）であるため、当市においても市内内の移動における利便性の向上と経費のバランスを見ながら、既存の路線バスへの補助または地域循環バスの創設について考えなければと感じた。



(筑後市役所にて)



(春日市役所にて)

教育民生常任委員会

視察先：愛媛県松山市・岡山県浅口市（7/2～7/4）

【愛媛県松山市 学校余裕教室を活用した学社融合推進する地域福祉の拠点としての取組について】

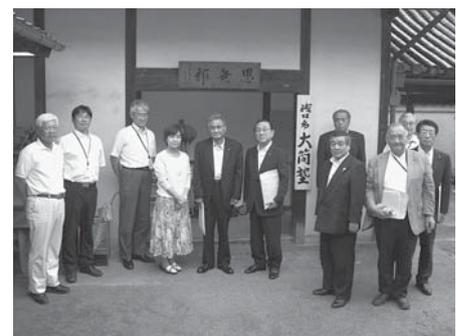
現在、市では少子高齢化が進んでいる。更に少子化が進むと統合した学校でも「空き教室」ができることも予想され、及び高齢化による介護・医療の費用増加も懸念される。また、近年では核家族化等で、地域との関わり合いも希薄化している。松山市は、余裕教室のある小学校の中に松山市社会福祉協議会が運営する「いきがい交流センターしみず」、及び社協下部組織（任意団体）の地区社会福祉協議会の活動拠点を設置することにより、日頃から児童、高齢者、地域住民のふれあいが生まれ、結果子どもたちは「やさしい」「元気」「あいさつができる」ようになり、高齢者もふれあいの中で介護予防サービスや趣味講座などに参加することを楽しみにしている。特に、学校授業科目「生活」に、「しみず」の職員がコーディネートし、児童、高齢者、地域住民が参加する「授業」を実施している。今後、市においても予想される問題でもあることから、大変参考になる取組であった。施設内を見学した際には、どの児童も元気にあいさつしていた。



(松山市清水小学校内施設にて)

【岡山県浅口市 登校できない子ども達のための適応指導教室で実施される支援及び取組について】

いじめ、不登校問題は大きな社会問題である。市においても今後不登校問題が発生し、その対応に迫られる可能性もある。浅口市では、教育委員会と市内全小中学校が連携し、1ヶ月ごとに、1週間以上または不規則に学校を休む児童生徒の把握をし、市が設置する適応指導教室「大箇塾」と相談して、必要に応じ利用を進めている。平成23年4月からこれまで延べ22人が利用し、現在は3名利用している。退職教諭3名で対応し、これまで利用した小学生は登校でき、中学生は高校進学を果たした生徒もいた。その授業内容等、今後このような事態に対応するには、大変参考になる取組であった。「不登校は私だけじゃないんだ」「構えなくていい」「自分の素のままでもいい」といった雰囲気を作りながら、次の一步を踏み出す支援に今後も取組みたいと話されていた。



(浅口市適応指導教室にて)

これまでの議会の活動の一部を紹介します

(議長・副議長・議員団)

5月15日	青森県市議会議長会定期総会
26日	つがる市議会運営委員会
27日	青森県選出国會議員との懇談会（東京）
28日	全国市議会議長会定期総会（東京）
30日	天皇陛下拝謁（東京）
6月2日	第2回市議会定例会開会・終了後 つがる市氷温貯蔵施設視察
5日	市議会定例会一般質問〔6日まで〕
9日	予算特別委員会〔10日まで〕
11日	総務常任委員会・教育民生常任委員会
12日	経済常任委員会・建設常任委員会
16日	第2回市議会定例会閉会
25日	総務常任委員会行政視察〔27日まで〕
7月2日	教育民生常任委員会及び経済常任委員会行政視察〔4日まで〕
	千葉県八街市議会行政視察来庁
10日	つがる市戦没者追悼・平和祈念式
23日	建設常任委員会行政視察〔25日まで〕

完成前の氷温庫(車力)を視察

6月議会開会日の2日、議員団は市長、副市長と共に議会終了後、車力町に建設中だった「つがる市集出荷氷温貯蔵施設」を視察しました。7月下旬から本稼働しており、主にニンニク・ネギが氷温貯蔵されます。議員団からは、搬入可能なコンテナ数やコスト面、また、冷気を逃さないための設備等についての質問がありました。



クールつがる No.3 とのさき ゆうがい 「外崎 裕漣さん」

つがる市のクール（良質なモノ・頑張っているひと etc）をジャンルを問わず随時紹介してまいります。

今回は下車力町在住の水墨画家、外崎裕司（雅号 裕漣）さんです。

受賞歴

- ・全国公募水墨画北水展大賞
- ・公募日本・中国水墨画合同展
内閣総理大臣賞 ほか多数

始めたきっかけ

墨の濃淡の魅力に惹かれ
独学で描いてみたことがはじまり

今後の計画

来年、新旧の作品による個展を
開催予定



◆議会に望むもの

しっかり伝え、かつ、わかりやすくというむずかしい要求になるが、議会だよりは今以上に要点整理した表現で余白を増やし、市民が手にしやすいものを目指してほしい。

カルチャーセンターで指導しながら受講生と共に描くこと、また、水墨画を通じた全国のひと達との交流が財産であり生きがいであると話されます。津軽の風土をテーマとして描いてきた作風も、抽象的なものになってきたとのこと。思いどおりにはいかないが、見た人に感動を与える作品を描きたいと、静かな中にも力強く話されていました。

編集後記

議会だよりの編集に携わるのも残り数回となりました。いつも議会だよりを見て下さる皆様、最近文字が読みやすくなったと感じませんか。議会だより三十八号より前と比べ文字が太く見えやすいゴシック体を使用しています。年配の方でもかなり読みやすくなっているはずだと思いますが如何でしょうか。

毎年六月末頃から七月初め頃に、純白のミズチドリの花と香りが好きで、市役所からの帰りにベンセ湿原に行っていたのに、今年行けなかったのが残念です。ハマナスの香りと優劣付けられませんよ。一度嗅いでみて下さい。トキソウも咲いている屏風山一帯は貴重な植物の宝庫です。自然を大切に、いつまでも守っていききたいものです。

(村上 記)

■市議会だより編集委員会

委員長 野呂 直
副委員長 佐々木 良
委員 木村 直
長谷川 良
小笠原 徹
村上 博
佐々木 博
平川 博
伊藤 博

伊藤 博
藤原 博
平川 博
佐々木 博
村上 博
小笠原 徹
長谷川 良
木村 直
野呂 直
副委員長 佐々木 良
委員長 野呂 直